

NO316

# 衆南走ろう会

通称先  
衆南スポーツ社  
0724(83)4663

例会

・六月八日(日) 九時 集合  
場所 種河神社  
・六月二十二日(日) 九時 集合  
場所 種河神社

## 1. 大会結果

● 萩往還マラニック 250km 5月22~4日

ウルトラを初めて走ったのは、栗野原会長に誘われて行った阿蘇カルデラウルトラマラソンで、それから何度となく参加してきたが、49才の時、前会長の辻さんが、走ろう会として初めて萩往還マラニック250kmを完踏されたのに刺激を受け挑戦したもののあえなく途中リタイヤとなった。その後今仁さんが、走ろう会に入会されあつさりと言踏され、その後も毎年参加され、常に記録更新を続けているのを見て何とか私も完踏し、リベンジしたいと思いつけていた。そして今年2度目の挑戦をすることとを決意し、5月2日に山口市へ。2時過ぎにスタート会場となる瑠璃光寺で今仁さんと待ち合わせ、説明会を聞きスタートの準備に掛かる。今回は、雨の心配は全くなく、走りに集中出来そうである。6時に太鼓の合図と共に50人程度毎に3分間隔でスタートして行く、長い戦いの始まりである。スタートして約15km程は、山口市の河川敷を南下、この頃薄暗くなり、これより朝方に向け日本海まで走り抜ける事になる。途中の豊田湖エイド(51km)に着いたのが、11時20分頃、この間が、精神的、肉体的に一番に辛く何度「もうやめよう。」と思った事か。それでもエイドに着くなりビールを飲み、その勢いでおにぎり、うどんを頂き直ぐにスタートした所で今仁さんと入れ違いになる。此処での順位は、30番位、なぜか、これまでの気持ちとは裏腹に、気分的にも楽になりマイペースで走ることが出来た。しかし、途中で電池が無くなり、周囲が薄明るくなるまで1時間近く暗闇の中を足元に気を付けながら走り。4時20分に海湧食堂(86km)へ、此処でも生ビールとお粥を頂き最初のチェックポイントである俵島(98km)に向かう。この当たりで折り返しの早いランナーと出会う。6時20分頃俵島の折り返し、次のチェックポイントの川尻岬に7時30分頃到着。少し早い、朝食でビール、カレーを頂き、これからの暑さに備えロングタイツから短パンに履き替えスタート、ところが危うくチェックを忘れそうになり一緒に走ってきた人に教えられ慌ててチェックをする。以後は、必ず先にチェックを済ませてから休息を取ることにする。そして次の立石観音(117km)へ、この間は、小さな漁村と漁村の

海岸線を走ることになる。しかし、チェックの場所が分かり難く、50メートル程過ぎてしまえば慌てて戻りチェック。千畳敷(125km・標高3300m)に向う。ここは、殆どが歩きとなり10時40分ようやく頂上へ、此処で下に向かつておるランナーがいて話を伺うとやはり立石観音でチェックを忘れたため再び戻るとの事。すごい人がいるのだと驚く。千畳敷でのチェックを済ませ一気になり下りたい所であるが、この頃から足のマメが痛み始め一気には行かなくなる中、次のチェックポイント仙崎公園(142km)までの、平坦な海岸沿は、日差しが厳しい時間帯であり、川尻岬で食べてからは、何も食べていないため空腹を感じコンビニでおにぎりを買って食べる。仙崎公園を13時35分頃(143km)に通過。青島島・鯨墓の折り返しへと入る。3時間位で帰ってこようと思いつつ走り静ヶ浦キャンプ場14時40分(157km)で食事を取り鯨墓(153km)へ。15時35分到着であり、途中で今仁さんと顔を合わせる。この時点で約1時間程の差となっていた。そして仙崎公園(163km)に戻ったのが17時30分前、結局4時間かかってしまったことになる。これから宗頭(175km)までの12km、通常であれば遅くても1時間半もあれば充分に着く時間であるが疲労困憊で早く着きたい焦りもあり余計に時間が長く感じられ思った様には進まない、こんな状況のなか宗頭に着いたのが、19時半ごろであった。着くなり前回の教訓を生かし直ぐに夜中の走りに備えヘッドライトの電池交換。予備の懐中電灯準備。再度ロングタイツに履き替えて、夕食を済ませ20時半頃スタートしようとした時、同じようにスタートする人がいて話をすると足を痛めていて時間もあることなので歩き通すこととで、御一緒に下さないと頼み歩き始める。その方は、広島からの参加で谷水さんと今回が2回目昨年は見事完踏されたとの事。それでもここから先は夜道で完全に覚えていないらしく自分なりに詳細な地図を作成し、その地図で確認しながら歩いた。三見駅(187km)には23時頃到着、次の玉江駅に向かう、急に道が狭く不安になり地図を広げ何度か確認するがはつきりとしなない、しかし道は山の方へ、ここで萩線の踏切を渡り山越えて海岸線に出ることになるが、舗装はされているものの山道、こんな所を女の人でも一人で走っている。男の僕でも一人では、気持ちの悪いような道、ましてや、合っているのか、間違っているのか、全く目印がない。ただ、頂上付近に一台の軽トラックで発電機を動かしてエイドがあり、頑張つてねと声を掛けられ、近に一台の軽トラックで発電機を動かしてエイドがあり、頑張つてねと声を掛けられ、間違っていないかたことにはほっとする。そして何とか海岸線に、そしてしばらくして小さな港町らしき町中に入る。此処で家内から電話があり今どうしているかと聞かれ、萩に向かつて歩いていると、もう少しで萩市内に入る所まで来ていることを伝える。そして玉江駅12時50分着(194km)、此処で夏みかんとお茶を頂き一休み、駅の中に休憩の為のマットがあり仮眠している人もいた。一休みして外に出ると寒くて身震いし、直ぐに上着を出し着る。そして人気のない萩市内へ、何処をどの様に歩いているのか全く分からないまま谷水さんに付いて歩く、しかしこの頃谷水さんも相当足が痛いのか歩くペースも随分遅くなり思うようには進まない。時折していたスト

レッチの回数も多くなり、笠山頂上に3時40分到着(205km)。チェックを済ませ、同じ半島の中にある虎ヶ崎食堂(207km)へ。ここに4時25分に到着。2回目の朝食を頂きしばらくすると、今仁さんが、入ってこれた記念写真を撮り、私が先に出発、後は最後のチェックポイントとなる東光寺(216km)へ。しばらくして夜明けを迎え、薄明るくなった萩市へと戻る。そして東光寺手前で再び今仁さんと一緒にいるが、こちらは、歩くことしか出来ない中、マイペースな今仁さんに遂に追い越されてしまう。東光寺には、6時45分に到着。残り34kmだけの時間がかかるのか、制限の18時までには、11時間あまり。この間に、2つの山越えがあり足がこれ以上酷くならないことを願いながら歩く。筋肉痛とマメの両方の痛みを我慢しての歩きである。谷水さんは、痛み止めをのみながら、何とか萩往還道に入り140km、70km、35km、ウォーク、等の多くの参加者から応援をもらいながら一歩一歩、250kmのゴールが近づいていることを感じながら歩いた。そして何とか佐々並市(235km)11時45分通過、しかし、この後に続く新ノ切峠(232km)、板堂峠(243km)でどれだけ時間がかかるのか少し心配になり、これまで一緒にきた谷水さんにもう少し早く歩かないと時間内は、無理ではと声を掛け少し早足での歩きとなる。此処で谷水さんと離れてしまうことになる。そして最後の急な石畳の下り2日前にスタートした瑠璃光寺に44時間48分で何とか戻って来ることができた。結果約60時間の不眠でのレースであった。今回無事完踏する事が出来たのは間違い無く谷水さんのおかげだと思いつつながら制限時間内の完踏を考え先行してしまつた事を申し訳なく思った。因みに、今仁さんは、43時間01分で自己記録更新で完踏されました。又、谷水さんも時間内には完踏された。

今回のレース中、励ましの電話を頂いた和田さん、宮下さん、芝本さん、出口さん本当にありがとうございます。

2. 大会案内

● 神鍋高原マラソン

8月31日

● 神鍋高原マラソン  
 昨年は、堀池さん一人が参加する事になってしまつた大会ですが、私も毎年参加している珠洲トリアスロンが、一週間早くなりましたので、今年は参加することになりました。参加される予定の方は、堀池さん、西さんです。他の方も参加されませんか？  
 宿泊先は、事務局(岡田)が準備いたします。

● 四万十川ウルトラマラソン

10月25日

● 四万十川ウルトラマラソン  
 今年の四万十川ウルトラマラソンの申し込みが始まっています。申し込み期限は、6月19日迄です。但し抽選ですので当たらないことには、参加できません。



08年走行距離

氏名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
芝本 鈴代	月	542	540	369	0							
	累計	542	1,082	1,451	1,451							
和田 年弘	月											
	累計											
今仁 正義	月	233	188	159	233							
	累計	233	421	580	813							
堀池 一夫	月	134	103	113								
	累計	134	237	350								
栗野原泰正	月	60	80	100								
	累計	60	140	240								
岡田 盛助	月	380	252	192	231							
	累計	380	632	724	955							
西 和秀	月	130	90	110								
	累計	130	220	330								

芝本さんは、3月の美山マラソンで膝の後ろ痛めてしまい今のところ走ることが出来ません。夏頃には、また走れる様になると思います。その時にはみなさん宜しくお願いしますとの事です。